

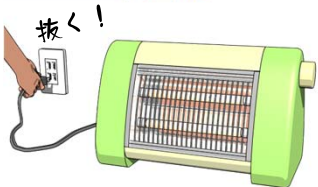
もしもの災害のときは...

災害は忘れたころにやってきます。

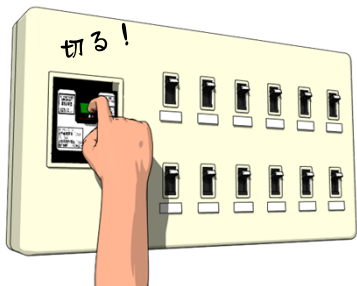
普段から災害時の備えを万全にし、いざという時にあわてないようにしましょう。

地震が起きたときは

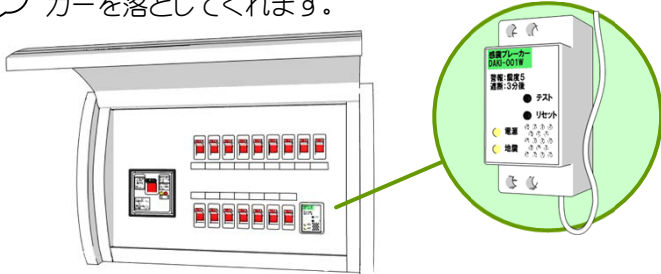
電熱機器は火事に注意。アイロンやストーブ、ドライヤーなど熱を利用する家電製品をお使いの時は、スイッチを切って、プラグをコンセントから抜きましょう。



自宅を離れて避難するときは、電気の消し忘れによる火災を防ぐために、分電盤のメインブレーカーを切りましょう。また、避難先から戻った時も、家の中の安全を確認してから電気をつけましょう。



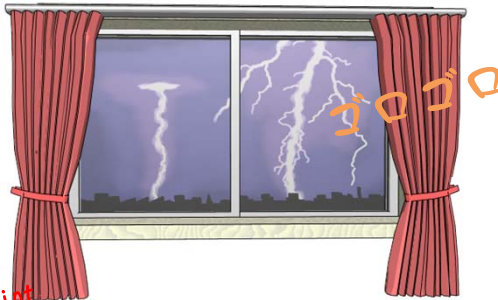
Point こんな時に便利なのが、感震ブレーカー。震度5以上の地震の時、自動的に分電盤のブレーカーを落としてくれます。



※画は分電盤内蔵型の感震ブレーカーの例です。

雷が鳴るときは

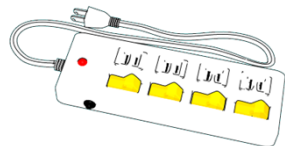
落雷による影響で、家電製品が壊れる場合があります。雷がやってきたら、家電製品のプラグをコンセントから抜きましょう。



Point

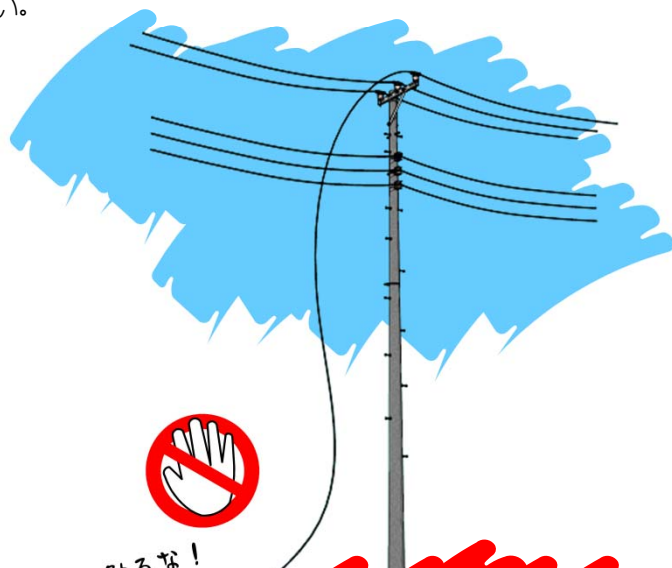
こんな時に便利なのが、雷サージ保護機能付きの分電盤やテーブルタップ等です。雷による異常電圧を抑え、家電製品を故障から守ってくれます。

※すべての雷から守ってくれるわけではありません。使用上の注意事項をよく読んでからお使いください。



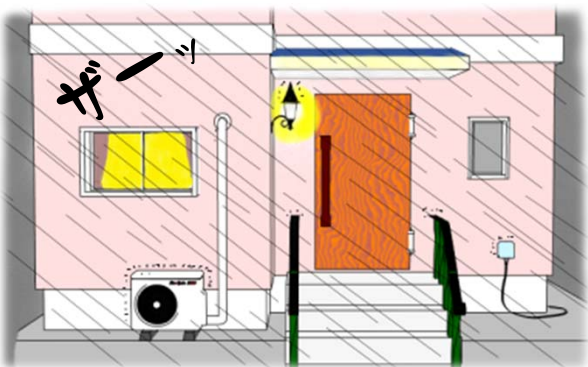
切れた電線を発見したら

切れた電線に触ると感電する恐れがあります。また、樹木や看板などに垂れ下がっている場合は、それに近づいてもいけません。絶対に触らず、電力会社に連絡してください。



台風や暴風雨のときは

屋外の照明器具やコンセント、エアコン室外機等の配線部分が暴風雨で水を被らないか確認しましょう。屋内配線や家電製品に水が被ってしまった場合は、漏電遮断器が動作して使用できなくなることがあります。そのようなときは、電気工事店などにご相談ください。



電気使用安全月間
8月1日～8月31日
電気安全関東委員会